

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	5	課題区分	C	令和6年3月29日
横断的な課題	大規模地震・噴火・水害等の発生時における対策の充実・強化					松本地域振興局
地域重点政策	大規模地震・噴火・水害等の発生時における対策の充実・強化					
実施機関	松本地域振興局総務管理課			担当課	所属	松本地域振興局総務管理課
事業名	「信州 火山防災の日」に関連した啓発事業				電話	0263-40-1903
				E-mail	matsuchi-kenmin@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	住民の火山防災への意識向上と「信州 火山防災の日」の周知				
	現状と課題	長野県は、全国でも有数の火山県であり、過去、幾度となく火山災害が発生し、御嶽山では平成26年9月27日の噴火で多数の登山者が巻き込まれる甚大な被害をもたらした。 三つの活火山を有する松本管内においても、火山防災に係る意識の向上と防災対策の一層の推進に継続的に取り組み、併せて火山及び周辺地域の魅力発信による地域振興に寄与するため制定された「信州 火山防災の日」を周知していく。 管内三つの活火山のうち、気象庁による常時観測の対象であり、協議会が設けられているのは焼岳と乗鞍岳である。焼岳は令和4年度に噴火警戒レベルが2に引き上げられたこともあり、火山防災への意識は近年高く、資料等の需要が高まっている。一方、乗鞍岳については平穏であるが故に防災意識向上の契機が少ない状況であり、地域住民に対する啓発が求められている。				
	内容 (変更後の内容)	○乗鞍岳火山防災マップの作成・配布 乗鞍岳周辺地域の住民向けに、乗鞍岳火山防災マップを作成し、配布する。 マップは、万一噴火等火山災害が発生した際の避難、対処方法や火山という観点からの乗鞍岳及び火山そのものについての見識を高める内容とする。 あわせて、「信州 火山防災の日」について記載し、周知を図る。 ○上高地防災マップの増刷 令和4年度に作成した上高地防災マップが、当初想定していなかったが、松本市教育委員会により市内の中学生の防災教育に用いられた。焼岳に関する記述を中心に据えている防災マップを増刷し、引き続き教育現場での活用を進めるとともに、「信州 火山防災の日」についての記載を追加し、周知を図る。				
	事業期間	令和5年9月 ~ 令和6年2月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	乗鞍岳火山防災マップの作成・配布	リーフレットの作成・配布	99千円	リーフレット作成費		
	上高地防災マップの増刷	マップの作成	99千円	マップ印刷費		
	合計	200千円				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	乗鞍岳火山防災マップ:松本市安曇地区住民全世帯への配布		100%	100%	● 達成	
	上高地防災マップ:松本市内中学校への配布校数		19校 (市内全校)	19校	○ 一部達成	
					○ 未達成	
事業実績・成果	【実績】 ・乗鞍岳火山防災マップは地元住民である松本市安曇地区の全世帯(580戸)、観光、公共施設に配布 ・上高地防災マップは松本市(教育文化センター)を通じて中学生へ配布 【成果】乗鞍岳火山防災マップについては、平穏であるだけに火山という意識が薄まっていることが懸念されていたが、乗鞍岳火山防災協議会において本取組について評価され、当局に限らず次年度以降も住民に対する情報提供を行うことで検討が進んでいる。 ・上高地防災マップについては、時点修正のみならず内容を一部修正したことでブラッシュアップでき、観光客や登山者のみならず、地元住民の学習機会に役立つよう見込んでいます。 両リーフレットに「信州 火山防災の日」について表記し、周知を図れた。					
今後の方向性	・乗鞍岳については、火山防災協議会でも求められているように安穏であるがゆえに、地元自治体とともに、活火山であるという周知を引き続き地域住民に対し実施していく。 ・上高地防災マップについては、継続的な周知が求められているため、マップに限らず効果的な方法を模索しながら継続していく。					